

WEEKLY REPORT



会長 小平和広 幹事 金子良弘 例会 毎週木曜日 12:30~13:30 旅館 エビスヤ
http://takahata-rc.net 事務局 山形県高島町大字高島911-2/2F tel 0238-52-5440 fax 0238-52-5444

本日の例会 [2514 th] 2020. 2. 27

移動例会

ひっぱりうどん例会 高砂屋珈琲店

前回の例会 [2513 th] 2020. 2. 20

株式会社 我妻組
代表取締役 会長 我妻悦雄氏

- ・点鐘12時30分 小平和広会長
- ・ロータリーソング それこそロータリー
- ・四つのテスト
- ・ソングリーダー 青木道春君
- ・S A A 鈴木司郎君

会長あいさつ

小平 和広 会長

皆様こんにちは。今週は雪が少し降って何となくホットしております。

まず最初に本日のお客様をご紹介をいたします。本日は、株式会社 我妻組 代表取締役 我妻悦雄様でございます。私が記憶しているのは、弘前城の曳家（ひきや）工事をしている我妻組さんの映像を見て、感激したことです。後程スピーチを頂きます。宜しくお願い致します。

さて、止まることを知らない新型コロナウイルスですが、私のお客様の会社でも中国に出張させている所があり、帰国後会社を休ませるべきか、休ませた場合有給休暇を取得させても良いか等の相談も増えており、この高島にも深刻な影響が出つつあることを感じております。

さらに、中国には今もう一つ問題が発生しつつあると言われております。それは、三峡ダムと言って、武漢や上海の北の方にあるダムで、その距離は570 km、東京から神戸の距離、高さは187 m、原子力発電15基分の発電力を誇る世界最大のダムですが、このダムが決壊する恐れがあるということです。グーグルの映像によると、ダムの歪みが確認で

きますし、ひどいところでは水圧でダムが下流に移動しているそうです。決壊すれば、武漢は水没するのではと言われており、そして、土砂の影響は沖縄まで来るのではないかとされています。皆様、上海周辺においでになる際は、是非注意して出発して下さい。

《幹事報告》

黒澤 嘉徳 副会長

・RI ホノルル国際大会の案内をいただきました。

《事務局より》

・クラフトビール25本全てお買い上げ頂きました。お買い上げ金額全額をスマイルに入れさせていただきます。

スマイルBOX

- ・以前お仕事を頂戴しておりました。本日はありがとうございました。
小平 和広 君
- ・前回の那須さん本日の我妻さん、初対面ですが、講話ありがとうございます。
丸山 俊秀 君
- ・以前お世話になりました。ありがとうございます。
皆川 賢治 君
- ・冬咲きぼたんまつりで緑道をピンクにしました。春の夜祭りでも活躍予定です。
山村 義美 君
- ・ちゅうしん蔵を曳いていただきました。春3月より活動を開始します。
大浦 英祐 君
- ・オンブラーージュの前の蔵を曳いていただきました。
長谷川平内 君
- ・お手元のパンフレットや会社のゾウの看板は弊社で納入しております。
青木 道春 君

株式会社 我妻組
代表取締役 会長 我妻悦雄氏



皆さんこんにちは。令和になってから我妻組の会長になりました我妻悦雄です。私の名前はよく「面白いな」と言われます。なぜでしょう?! 私の名前は「我が妻を悦ばす男」だからです。

まずはビデオを用意しましたのでご覧ください。弘前城の番組はご存じかと思いますが、NHKのプロフェッショナルという番組で紹介されました。終了後はメールや電話をいただき嬉しかったです。また、長井市立長井小学校の番組は地元の制作会社に撮っていただきました。それが、はじめは県内での放送でしたが、中央での放送となり、面白いからと全国放送になりました。その放送が、文部科学省の方々が観ていたらしく、文部科学大臣賞を番組がもらったそうです。

●曳屋の歴史

建物は通常「曳屋」という工法で動かしました。曳屋とは建物を壊すことなくそのままの状態です。大きな木・大きな石なども移動することができるようになりました。曳屋の歴史は古代エジプト文明までさかのぼります。紀元前3000年くらい頃からルーツがあります。さて、そのルーツとは何だと思いませんか?それは「テコとコロ」です。

曳屋では建物を横方向だけでなく、縦方向にも移動させます。縦方向の移動は横方向の移動よりは大変です。なぜなら、建物は年月が経つにつれ、その重みで柱や土台が沈み込んで全体が歪みます。歪みを直しながら水平に持ち上げなければいけません。設置した多くのジャッキを使用して持ち上げるとき少しでも圧力のバランス掛け間違えると建物が壊れてしまいます。このような歪みを直すにあたっては建物の構造や柱の大きさ柱の強度、地盤の固さなどを調べ、どこどのどれだけの圧力をかけるか考えるのが重要となります。

次週の例会 [2515 th] 2020. 3. 5

安久津八幡神社 総代長
伊澤良治氏

この世に二つとない重要文化財の弘前城や長井小学校など壊してしまうと一巻の終わりです。長い年月を経た建物には人々の思いや愛着が積み重なっています。壊してしまえば、そういう思いもなくなってしまいます。だからこそ、建物と一緒に人々の思いも動かしているという思いで、仕事をさせていただいています。

米沢になぜ???か、といいますと。上杉鷹山公という名君がいました。「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」という名言があり有名ですが、曳屋もその言葉の延長線上にあります。郷土には、この素晴らしい教えがありますので、曳屋という仕事が米沢地方に芽生えました。父はこの仕事に大変興味を持ち、自転車で歩き回って見に行ったそうです。好きこそもの上手なれという言葉があるように、まさにその通りで、私の父の上達は早いし、工法を編み出しました。それが、我妻組が生まれた経緯となります。しかし、我妻組の父は営業がとても苦手で私は逆に営業が好きで、皆がしないようなことを好んでしました。それは私の生い立ちが影響していると思います。

私は婿養子です。私は「つるたごみ」です。わかります? 「つるたごみ」とは南瓜や西瓜等の最後の物ということです。生まれは川西町の田舎に生まれで9番目の子供でした。父は2歳の時に他界し、母は5歳の時に半身にマヒの病気となってしまいました。その前には兄が戦死していました。高校はアルバイトをしながら米沢工業高校土木科に入りました。父が土木関係の仕事をしていたからです。その後、人のやらないことを実践するために今でいう、国土交通省にはいり、夜は日大理工学部で学びました。大学卒業と同時に国土交通省をやめて大手ゼネコンに入りました。勤めを変えました。縁があり、今の妻と出会い、婿入りをしました。

損か得かで動かず、嘘か誠かで動いていたので、いろいろ遠回りしたかもしれません。

私は第一線を退いて、息子や会社を支えてくれる社員が3代目として頑張ってくれています。せっかく繋いできた曳家の技を残すためにも彼らの力が必要です。そのためにも彼らにできる仕事をさせてください。

建物と一緒に人々の思いや愛着の積み重ねも一緒に動かしています。

最後までお付き合いいただきありがとうございます。

《出席報告》

会員数 47名 出席者数 20名 出席率 42.55 %
前回修正47名 出席者数 47名 出席率 100.0 %